

# 全寮歌

嗚呼黎明は近づけり  
嗚呼黎明は近づけり  
起てよ我が友自由の子  
帝陵山下の熱血児  
侃諤の弁地をはらい  
哲人の声消えんとす

嗚呼曉鐘は鳴り響く  
嗚呼曉鐘は鳴り響く  
三州の野に殷々と  
強き響きを伝えつつ  
旧殿堂の奥深く  
眠れる魂を醒ますべく

城南高し三層楼  
箒れる理想を誰か知る  
美酒玉杯に耽りたる  
愉安の世を低く見て  
文を学び武をば練る  
五百の健児君見ずや

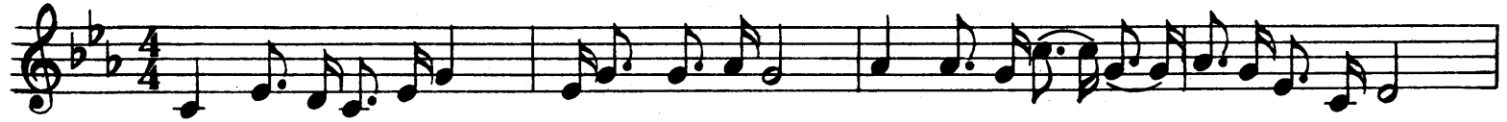
橄欖咲いて海青き  
アテネの町の春の色  
七丘の森秋更けて  
ローマの古都に月高し  
歴史はふれどオリオンの  
三つ星いまだ光あり

紫匂うローレルの  
葉陰に宿りし美鳥が  
一度目醒めて羽搏たかば  
彼の大空に勇姿あり  
友よあふるる若き日の  
希望の果をいざや見ん

# 全 寮 歌

作歌 沼間昌教君(1文乙)

作曲 吉田丈二君(1理乙)



あゝ れいめいは ちかづけり あゝ れいめいは一ちかづけり



た てよわがとも じ ゆうのこ ていりょうさんかの ねっけつじ



かんがくのーべん ちをはらひ てつじんのこえ きえんとす